

水と共に、
生き生き生きる。

おおがきびより

大垣 いろとりどり

四季折々の美しい情景と

歴史情緒あふれる城下町。

伝統と現代の具合が良いまち、大垣。

木曾三川から長い年月を経ていただく

豊かな地下水は、

そこで見られる風景、

そこでつくられるもの、

そして、そこに住む人たちの暮らしを

華やかに活気づけます。

「水の都大垣」をご堪能ください。

As the clam shells part ways



大垣城天守



湧き水



お茶屋敷跡



大垣ひまわり畑



万灯流し



大垣八幡神社

OGAKI WALK

Around



大垣城天守



一緒に大垣を旅します！

さばいどる かほなん

岐阜県出身。無人島を買って生活することを目標に、サバイバルスキルを磨くアイドル。山を買い、狩猟免許や重機、防災士の資格を持つ。キャンプ、登山、釣り等のアウトドア動画を自身の Youtube チャンネル「さばいどるチャンネル」にて公開中。

御菓子つちや みずのいろ



歴史いとおし。

ここは大垣、自然と歴史が織りなすまち。市街の中心に鎮座する大垣城は、慶長5年（1600年）の関ヶ原の戦いで石田三成率いる西軍の本拠地になった場所。純白の外壁を見上げれば迫力満点の天守。隣接する大垣公園では、芝生広場や遊具で遊ぶ子ども達の元気な笑い声が、かつての城下のにぎわいを彷彿とさせます。

お堀の風情漂う水門川を眺めつつ、城下町を巡れば銘菓がそこかしこに現れます。職人が一枚一枚手焼きのみそ入り大垣せんべいは、硬さの中にも深い味わい。大垣の地下水をふんだんに使った、水まんじゅうは、ふるぶると水の中を泳ぎ、暑い夏でもするりと喉を滑り抜けます。そして、ふんわりとした食感とヒノキの香りに優しく包まれた枳シフォン。お菓子が歴史と現代を結ぶ架け橋になっています。



masu cafe 枳シフォンと枳コーヒー

壁も机も器もコーヒーのカップも、枳。ひのきの香りにやさしく包まれます。



金蝶園総本家 水まんじゅう



田中屋せんべい総本家 みそ入大垣せんべい



すいぎよく園 抹茶ソフト

船町港跡のある水門川沿いは「四季の路」として整備され、大小20を超える橋が架かっており、かつての面影を感じる風景が静かに残ります。



船町港跡近くに架かる 住吉橋



すいすい・サイクル「すいとGO! (水都号)」は市街でのショッピングや散策が手軽に楽しめる、無料のレンタサイクルです。詳しくは「大垣レンタサイクル」で検索。



市内の中心部を流れる水門川で開催するたらい舟と舟下り（春季のみ）



夏はひんやり冷たい湧き水。



俳人・松尾芭蕉の「奥の細道」の旅の終着点に建てられた奥の細道むすびの地記念館は、奥の細道と大垣の魅力を体験できる施設です。一般入館料 300 円。

ロマンが湧く。

大垣八幡神社



清らかな気持ちで参拝。なんとなく気分も晴れ晴れと。

船町港跡は、江戸時代には交通の要所として栄え、俳人松尾芭蕉が「蛤のふたみにわかれ行秋ぞ」と詠み奥の細道の旅を終えた、むすびの地として知られています。春には桜が舞い、住吉燈台が照らす川面に浮かぶ一面の花筏（はないかだ）と共に流れゆく「舟下り」は時を忘れます。

まちを歩けば、市内各所に湧き水が点在し、まさに「水の都」。豊富な地下水の恵みにより全国有数の自噴帯に位置し、今も昔も変わらず清らかに沸々と湧き続けています。歴史上の偉人たちが湧き上がる水を見て、自らの英気を奮い立たせていたのかもしれない。湧き水を巡りながら、大垣八幡神社にも立ち寄りましょう。5月に開催される神社の例大祭「大垣祭」で行われる軸行事は、国の重要無形民俗文化財に指定、ユネスコ無形文化遺産に登録され、祭り囃子と共に13輛の軸がかつての城下町を巡行し、多くの人で盛大かつ華やかに賑わいます。

OGAKI DRIVE

Around



かみいしづ緑の村公園



かみいしづ33terrace

彩り豊かな野菜とおっきなお肉をジュージュー。



気軽に贅沢 BBQ したい時にピッタリな手ぶらコース。

大垣市街から近い青墓町やドライブ気分で非日常感を楽しめる上石津町など、自然豊かな場所が充実しております。

RECOMMENDED PLACES

豊かな自然をもっと楽しむスポット

烏帽子岳



鈴鹿山脈の北部に位置する標高865mの山。続ぎふ百山に選定され「美濃富士」と呼ばれている。

円興寺



延暦9年(790年)に創建され万治8年(1658年)に現在地に移遷。紅葉景勝地として飛騨・美濃紅葉33選に選定されている。



自然を満喫しながら飯盒でかんたんピザ作りに挑戦。



野外活動センター

市街から20分で木々が生い茂る大自然の中に。



ふらっと アウトドア。



多良峡森林公園のつり橋

多良峡森林公園は、多良峡の持つ豊かな自然と景観を活用した全長2.5kmほどの峡谷です。つり橋や遊歩道が整備され、春は新緑、秋は紅葉が楽しめます。

養老山脈と鈴鹿山脈に囲まれたかみいしづ緑の村公園は、自然に満ちた広大な敷地で、まさに心を満たす楽園です。ここには森林、湖、畑、釣り堀、バーベキュー場、アスレチック場があり、家族や仲間と賑やかな時を過ごしたり、静寂を求めたソロキャンプをしたりとそれぞれの楽しみ方ができます。園内を彩る四季折々の植物は、訪れるたびに新たな顔を見せます。サイクリングでエメラルドグリーンの深谷、多良峡へ足を伸ばすのもおすすめです。その美しさは言葉では表現しきれないほど、まるで自然そのものが詩を奏でているかのようです。緑豊かな森林が、流れる川の透き通った水面に映し出され、夢の中にいるような錯覚を覚えます。

市街地にほど近い野外活動センターでは、美しい木々の間を歩きながら新鮮な空気を吸い込み、心をリセットできます。





大垣ひまわり畑

明るいひまわりの笑顔に囲まれてパシャリ。



カモミール畑

あじさい街道

桜やあじさいが有名な犀川堤や大垣ひまわり畑、カモミール畑など、季節の移ろいを花々で感じて楽しむスポットをたくさん見つけることができます。

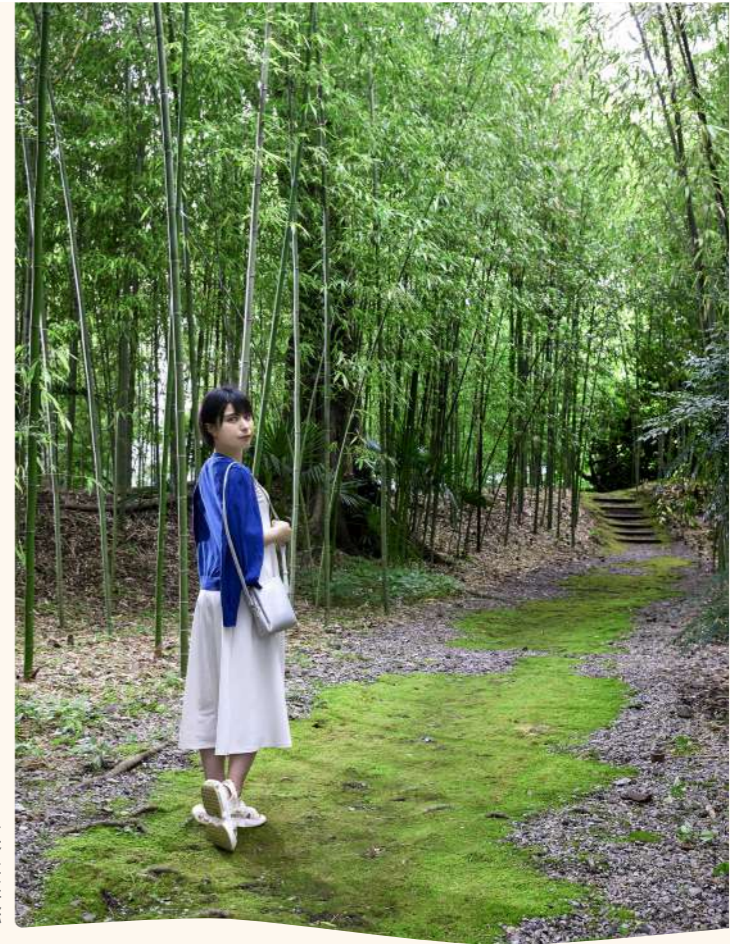
ドクターイエローとのツーショットも!



お茶屋敷跡は、徳川家康が上洛の往還にあたって造営した將軍家専用の休泊施設の貴重な遺構（現存する唯一の遺跡）です。
※駐車場はありません。



深い緑の竹林に囲まれながら、歴史に触れる。



お茶屋敷跡

季節うつろう。

堤の桜並木のトンネルをくぐれば、木下藤吉郎（のちの豊田秀吉）が一夜にして築いたと言われている墨俣一夜城が現れます。織田信長は、この城を拠点に美濃国を制覇したとされ、後に天下をとる豊臣秀吉の出世のきっかけになったことから、出世の地とも言われています。
場所を赤坂町へうつせば、將軍家康が上洛の往還にあたっての休憩所として造営した、お茶屋敷跡へ。城郭様式を残し、竹林を静かに吹く風音がいにしへの憩いの風情として今も残ります。このあたりは、古くから石灰や大理石産業が盛んでもあり、これらを運び出すために川を交通手段としていました。
1900年代初期頃には川港の赤坂港跡には、500艘を超える船が往来し、産業の町として賑わいを見せました。赤坂港跡に建つ洋風建築の赤坂港会館は、明治8年の屯所（警察署）を復元したものです。江戸から明治、そして現在へと歴史の流れが垣間見えます。



赤坂港跡

復元された明治時代の洋風建築に情緒を感じながら散歩。



墨俣一夜城

Pop walk through historic Ogaki

～ポップで活気ある街を歩く～



Let's Start
OGAKI walking



大垣市長 石田 仁 (いしだ ひとし)

第14代大垣市長。大垣生まれ、大垣育ち、大垣大好きな、生粋の大垣っ子。大垣市の発展のために、想いは日本海溝より深く、望みは富士山より高く、そんな気概をもって、市政運営に当たっています。

石田市長 (以下I): 大垣は水の都。お城を抜けて少し行くと「名水大いご井の泉緑地」という自噴水の井戸があるので、まずはそちらへ行きましょう。

かほなん (以下K): いいですね! 今日はお天気も最高。大垣お散歩日和。

I: ところでかほなんさん、今回の撮影では大垣のいろんな場所を回っていただいたと思いますが、お好きな場所はできましたか。

K: 大垣、素敵な場所です。いろんなところに回りましたが、特にいいなと思ったのが、奥の細道むすびの地記念館横にある赤い橋。昔ながらの味が残りつつもきれいに色も塗られて「映えスポット」としても最高です。

I: 住吉橋ですね。あそこは桜の時期は川の両サイドから桜並木が続いて、そして燈台があってその赤い橋が見える、春はいつでもすてきな景観になるところなんです。



K: 大垣は全体として景観がいいなと思います。現代のまちとしての機能がある中で昔の情景を感じます。1人で来られている若い方をはじめカメラ片手の方をたくさん見かけました。

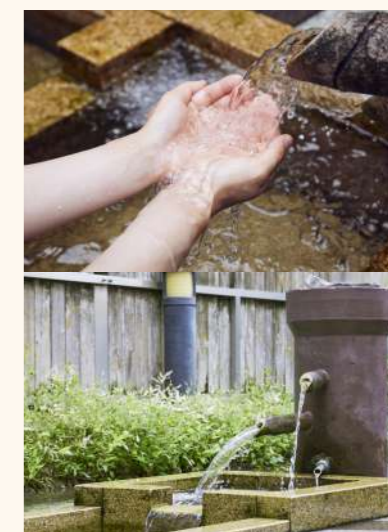
I: そうですね、もちろん団体でも見えますが、こそっと1人で来られる方も少なくないですよ。そろそろ「名水大いご井の泉緑地」に着きました。これが昔の大垣の一番ポピュラーなかたちの井戸。大垣には市内21の自噴水の井戸があるんです。

K: わー冷たくて気持ちいい!

I: だいたい15°C前後なので、夏は冷たい、冬は温かいという感じです。向こうに見える養老山脈は岩盤になっていて、木曾川長良川揖斐川の三川から地下でずっと続いています。100年くらい前に三川で吸った雨水がずっと地下に染み入って、尾張北部を通過してこの養老山脈の岩盤にぶつかって下に溜まる。そして、ちょうどここ大垣の辺りでたくさん自噴するわけです。

K: なるほど! 大垣で水が出るのは、そんな地形の背景があるんですね!

I: 地上に流れて見えている木曾川長良川揖斐川の三川をもとに、地上からは見えない地下にもそういった地形の仕組みがあって、ここに集まっているというわけです。商店街を少しだけ歩きましょう。





K: そうですね大垣は人が素敵です。撮影の時もこの商店街でいろんな方に気さくに話しかけていただきました。

I: 大垣で事業を立ち上げられた企業の方からお話を伺うことがありますが、大小問わず温かく迎え入れていただけたというお話をたくさん聞きます。もともと大垣で立ち上げられたという理由はこの部分がすごく大きかったです。

K: 大垣の人たちがみなさん呼び寄せたんですね。

I: もちろん地理的な理由もあると思います。JR東海道本線、名神高速道路、そして国道21号線が通る。昔の人がそういうベースをつくってくださったんですね。

K: 自然豊かなキャンプ場に行けちゃうのも魅力。今回撮影で伺った「野外活動センター」と「かみいしづ緑の村公園」、どちらもそれぞれ良さのあるキャンプ場で好きです。そういえば、市長にとって大垣のお気に入りの場所、挙げるとしたらどこになるのか聞いてもいいですか？

I: 難しい質問ですね、やはり関ヶ原の戦いで石田三成公が最後の居城にしていた大垣城になるのかな。江戸時代からは戸田氏鉄公が尾崎から入って大垣藩の藩主となられ大垣は十万石となり、しっかりと城下町として成り立っていきます。大垣城は今も駅から近い立地で市民の憩いの場です。

K: 今日市長と大垣のまちを一緒に歩かせていただいて、改めて城下町としての大垣を感じました。

I: そうだ、ここでお昼にしましょう。学生の頃から通った「喫茶サンパウロ」。久しぶりにこのパスタとコーヒーをいただこう。

K: かわいい素敵なお店！私はサンドウィッチとクリームソーダにしよう。レトロと現代が混ざるまち大垣。

I: このお店はずっと変わらないなあ。いい具合に進化し続けるまち大垣。みなさんずっと住み続けてもらいたいと思っています。

K: ちょうど良い場所、大垣。今日はありがとうございました。クリームソーダいただきます！



ロゴは1964年東京オリンピックのポスターで有名な亀倉雄策がデザイン。



喫茶サンパウロ

私がここで暮らす理由
水と共に生き生き



憩いの場でゆっくり家族時間



和気あいあいと子どもが集まる絵本の読み聞かせ



心やすく市内イベント「アルパカグリーンチル」



身体も気持ちもほぐれる癒しの時間



ユネスコ無形文化遺産に登録されている「大垣まつり」



市民主導で開催「まちなかスクエアガーデン」



水の恵みに感謝する伝統的な「水都まつり」



アスレチック体験で新しい挑戦



人のあたたかみ溢れる古民家「ミドリバシカフェ」



身近にある大垣のシンボル「水」とふれあう



ステージパフォーマンスで活気づく大垣駅前通り



安心して子どもを預けられる「キッズピアおおがき」



四季の広場で自然を楽しみながら水門川SUP



舟下りを眺めながら心たゆたうひととき



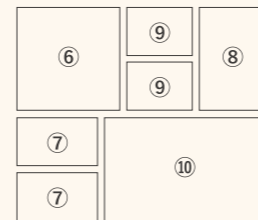
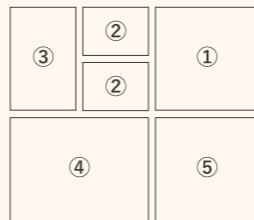
鮮やかな緑に囲まれて心が弾むにぎわいの時間



活気あふれる 多彩なひろがり



中部圏のIT拠点
「ソフトラジャパン」



繊維工場が密集する大垣市内
(昭和30年代)



大垣は豊富で良質な地下水や交通の利便性を生かし、繊維工業などを中心に「ものづくり都市」として発展してきました。現在は電子部品・電子デバイス・電子回路・輸送用機械器具などの多種多様な製造業が存在し、本市の産業を支えています。また、市内には様々な産業分野の企業が立地し、上場企業8社が本社を構えるほか、「IT企業が集積する「ソフトラジャパン」は、中部圏のIT拠点となっています。

① イビデン(株)

パソコン・データセンター用 IC パッケージ基板、自動車排気系部品を主力に、世界トップクラスの半導体・自動車メーカーとともにグローバルに活躍する技術開発型企業です。

② 太平洋工業(株)

自動車用プレス・樹脂製品、国内外でトップシェアを誇るバルブ製品を開発・生産するとともに、コア技術を活かした新分野にも注力し、サステナビリティ経営をグローバルに推進しています。

③ (株)セリア

全国展開をする 100 円ショップ。独自の商品開発も進めており、お客様の心に触れ、お客様の日常を彩るコトやモノとの出会いを、とことん真面目に追求しています。

④ (株)大垣共立銀行

さまざまな“全国初”のサービスを提供している地方銀行。「地域に愛され、親しまれ、信頼される OKB」を念頭に、地域が抱える課題解決をお届けする「総合サービス業」を目指して歩みを進めています。

⑤ (株)J-MAX

自動車用車体プレス部品・精密部品・電動化部品の製造、及び各種金型・治具・検具の設計・製作まで「社内一貫生産体制」で取り組んでいます。また、世界に通じる技術で日々進化を目指しています。

⑥ サンメッセ(株)

企画から印刷・Web、イベントまで「社内一貫生産」を強みに総合印刷で全国展開しています。2035 年に 100 周年を迎えます。ペーパレスの中、DX を推進しお客様のソリューションにお応えします。

⑦ セイノーホールディングス(株)

カンガルー便を全国で展開する西濃運輸を中核とした輸送事業のほか、自動車販売事業、関連事業などを展開しており、お客様への +α の豊かさを提供しています。

⑧ (株)大光

総合食品商社として、外食チェーン、ホテル、レストラン、学校給食などに卸売を行う「外食事業」と一般消費者、小規模外食事業者などに小売を行う「アミカ事業」などを行っています。

⑨ 大垣の酒蔵

良質で豊富な地下水に恵まれた市内には、3つの酒蔵(武内酒造・三輪酒造・渡辺酒造)があります。水都大垣の水と職人技を継承し、美味しい地酒を造り続けています。

⑩ 大垣の木枿

大垣市は、木枿の生産において全国の8割のシェアを誇っています。地酒による乾杯の習慣を広め、地場産業と郷土愛を育むため、「大垣市木枿で地酒による乾杯を推進する条例」があります。

城下町 おおがき MAP

豊富な地下水の恵み

良質な地下水が豊富な大垣。市内各所に井戸があります。その中の一つ、大垣八幡神社の境内にも水が湧き出ており多くの市民が集まる憩いの場となっています。

伝統が詰まったお菓子に舌鼓

大垣駅周辺には「金蝶園総本家」「すいぎよく園」「masu cafe」「田中屋せんべい」「御菓子つちや」など銘菓が味わえるお店があります。

自然と歴史文化が調和する 城下町大垣のシンボル「大垣城」

市街の中心に位置する大垣城は、慶長5年(1600年)の関ヶ原の戦いの前夜まで西軍・石田三成の本拠地となりました。昭和20年(1945年)の戦災で旧国宝の天守が焼失しましたが、昭和34年(1959年)に再建し、城下町・大垣のシンボルとなっています。隣接する大垣稲荷公園です。週末は家族で賑わうほか、春には桜の名所として市民に親しまれています。

大垣観光協会HP
大垣観光協会HP
大垣観光協会HP
大垣観光協会HP

水と自然の都市公園

錦鯉が泳ぐ四季の広場には季節の移ろいを楽しむ「親水広場」「水上ステーション」「滝のトンネル」「虹の橋」など水に親しむスポットが設けられています。

文化の風がそよぐ港跡

大垣と桑名を結ぶ輸送経路として賑やかな港であった船町港跡には、江戸時代後半に建てられた住吉燈台が残っています。また、俳人・松尾芭蕉が「奥の細道」の旅を終え、桑名へ舟で下った港でもあります。付近には、松尾芭蕉の紀行文「奥の細道」に関する資料展示や大垣の先賢の偉業を紹介している「奥の細道むすびの地記念館」があります。

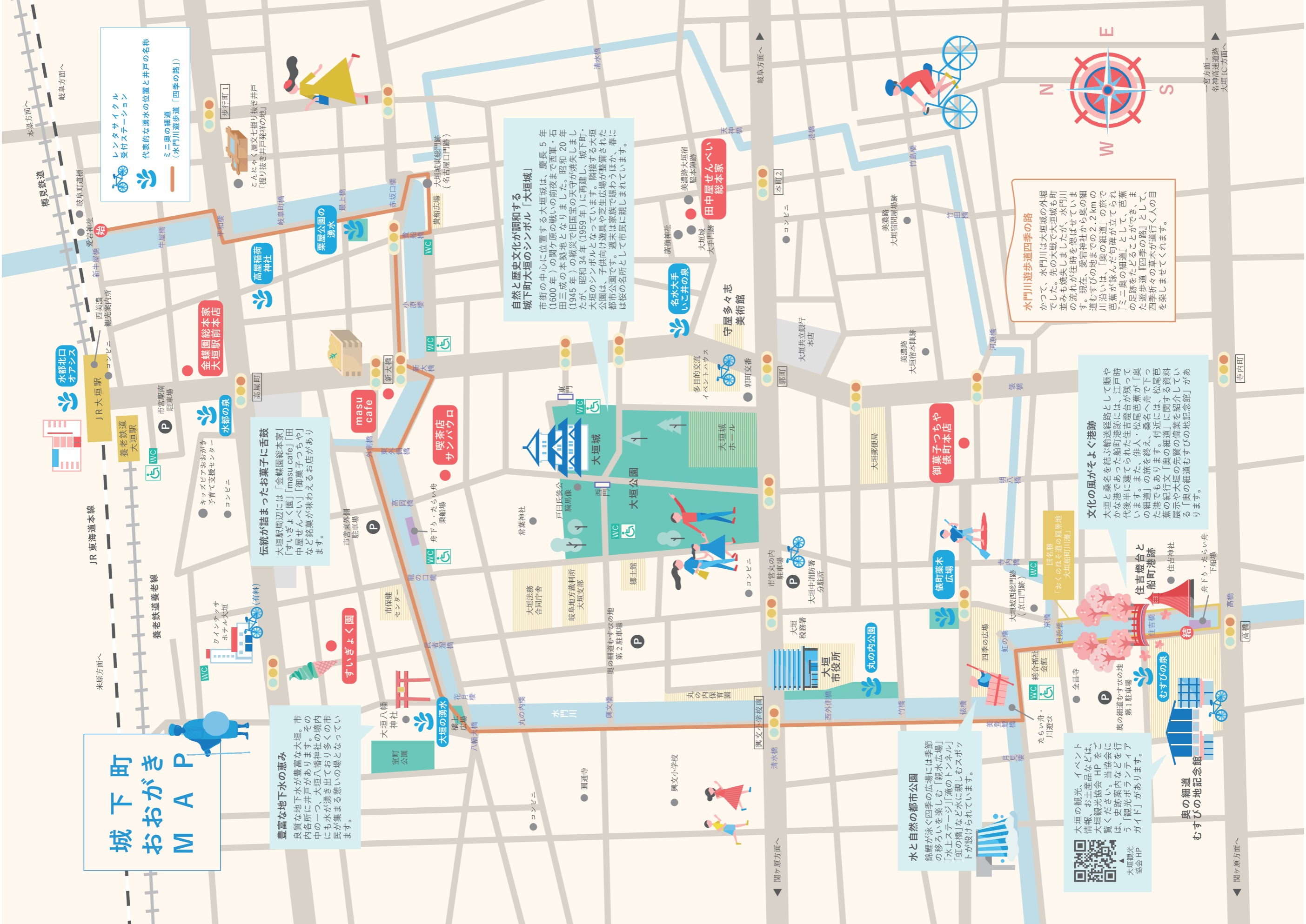
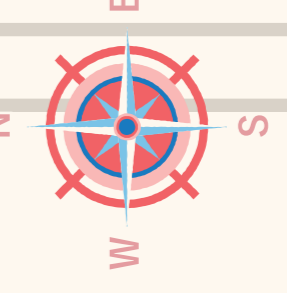
水門川遊歩道四季の路

かつて、水門川は大垣城の外堀でした。先の大戦で大垣城も町の流れが往時を偲ばせています。現在、愛宕神社から奥の細道むすびの地までの2.2kmの旅で芭蕉が詠んだ句碑が立てられた遊歩道『四季の路』として、四季折々の草木が道行く人の目を彩らせてくれます。

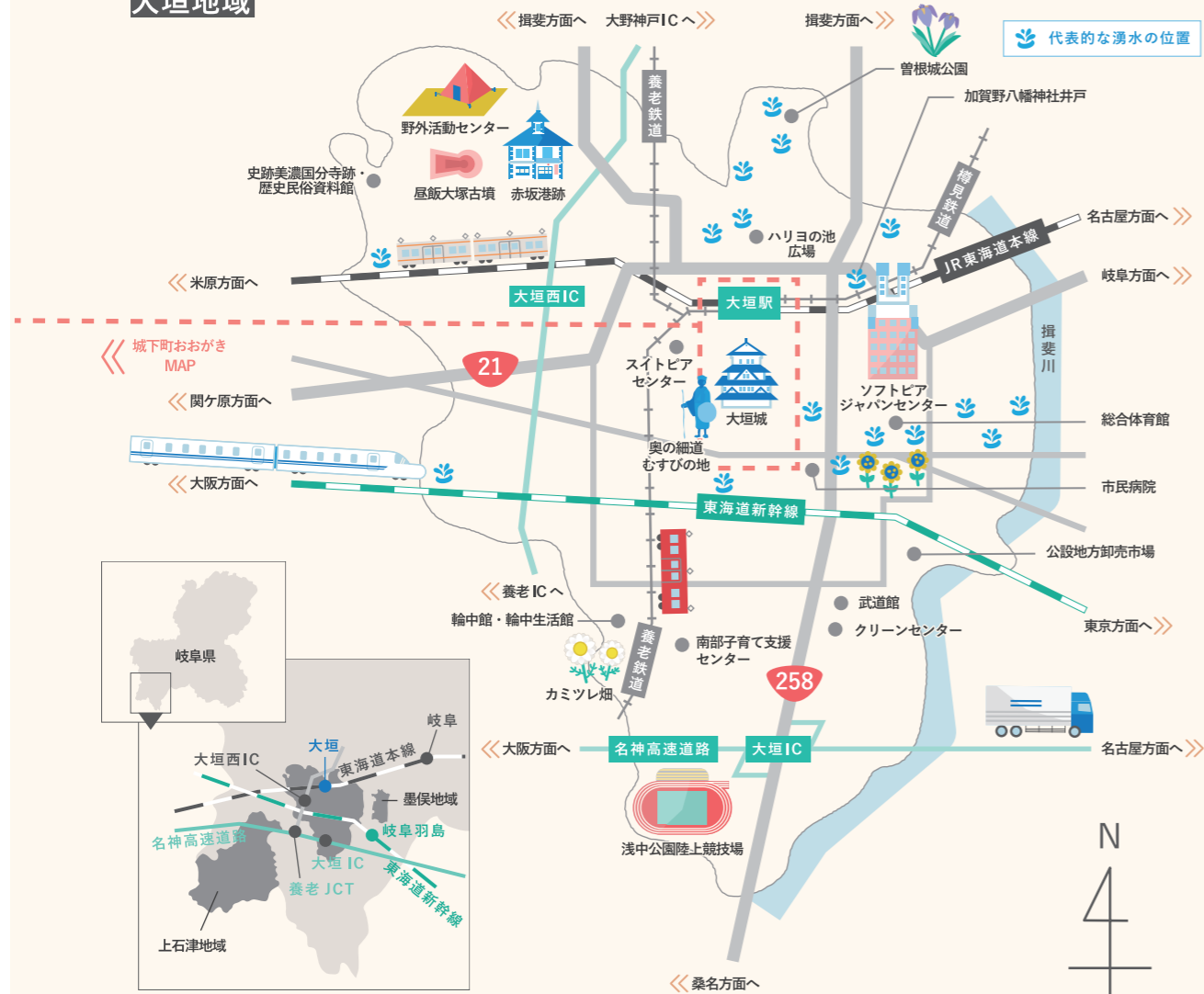
住吉燈台と船町港跡

住吉神社
舟下り・たらい舟
下船場

奥の細道 むすびの地記念館



大垣地域



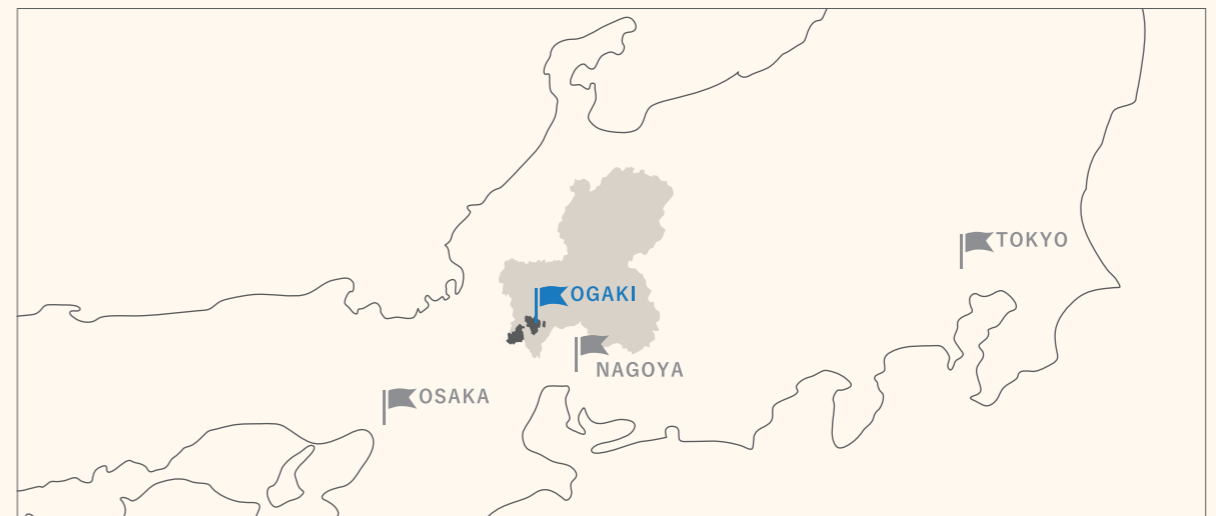
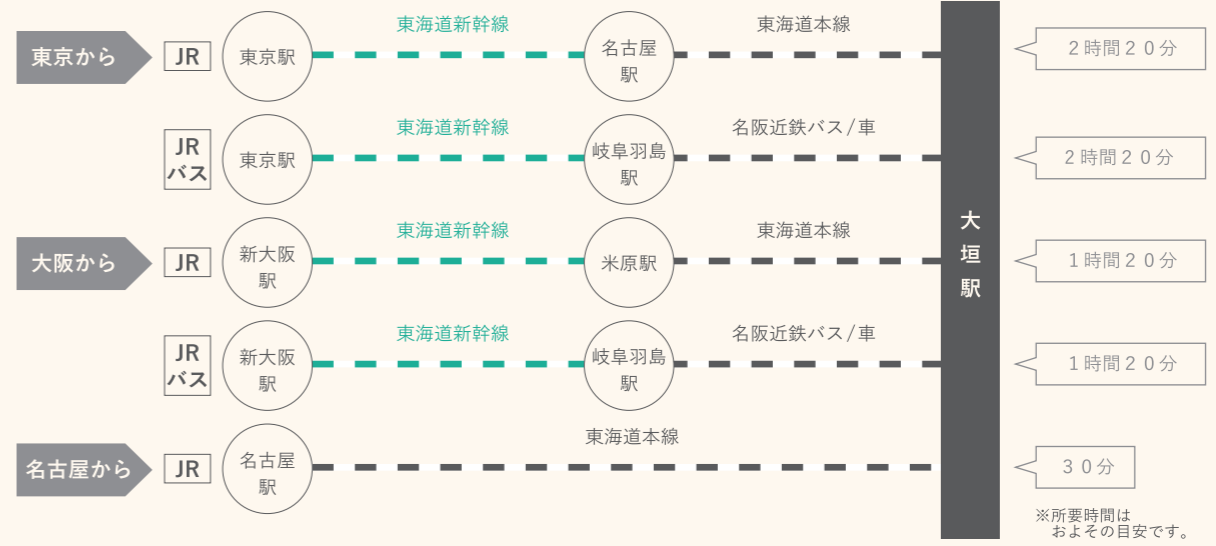
上石津地域



墨俣地域



アクセス



大垣市公式サイト/SNS

大垣市公式 HP	大垣市移住定住ポータルサイト「大垣暮らしのすすめ」	大垣市子育て支援アプリ (Android版, iPhone版)
大垣市公式 Youtube	大垣市公式 LINE	大垣市広報 Instagram

大垣市魅力発信 PRパンフレット おおがきびより

発行：大垣市都市プロモーション室 (0584-47-7681)
 企画：大垣市
 デザイン：株式会社 GOCCO.
 撮影：OH! SNAPS
 発行月：2023年11月